

上之保「ふれあいのまちづくり」のための 住民意識調査（住民アンケート）報告

実施期間 令和元年8月1日(木)～8月14日(水)
 対象 中学生以上の上之保在住の全住民
 配布数 1,488通
 回収数 1,068通(回収率 72%)

回答者属性

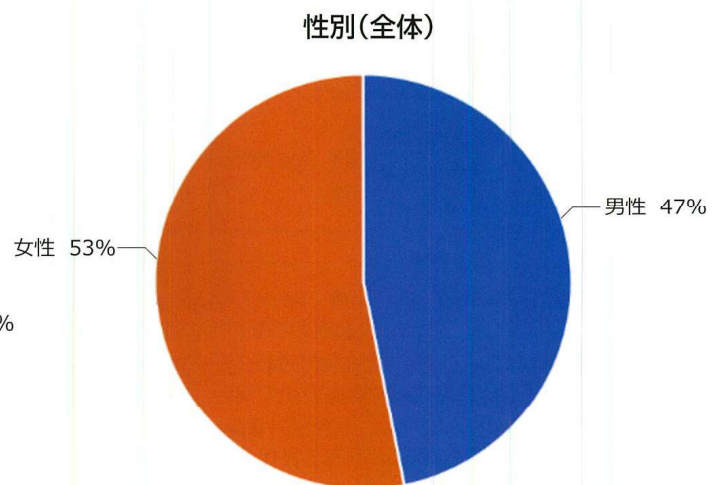
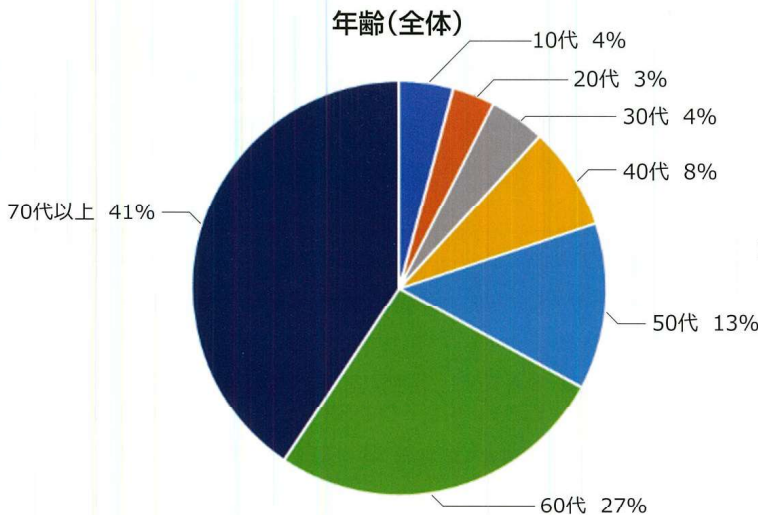
20代が一番少人数

年齢	全体	鳥屋市	行合	川合上	川合中	川合下	宮脇上	名倉	明ヶ島	船山
10代	41	0	4	0	11	3	9	6	4	4
20代	32	0	4	1	6	1	12	0	3	5
30代	42	0	1	2	9	6	7	4	1	12
40代	78	5	4	1	15	10	14	8	4	17
50代	126	9	8	6	25	15	24	9	10	20
60代	257	17	27	13	29	47	29	22	25	48
70代以上	394	48	36	17	59	59	43	35	39	58

男性	女性
17	22
19	12
20	22
38	39
66	60
117	137
173	215

性別	全体	鳥屋市	行合	川合上	川合中	川合下	宮脇上	名倉	明ヶ島	船山
男性	451	33	43	22	69	65	67	38	36	78
女性	511	45	44	17	83	76	69	45	47	85
合計	962	78	87	39	152	141	136	83	83	163

地域人数偏りが大きい。約4倍



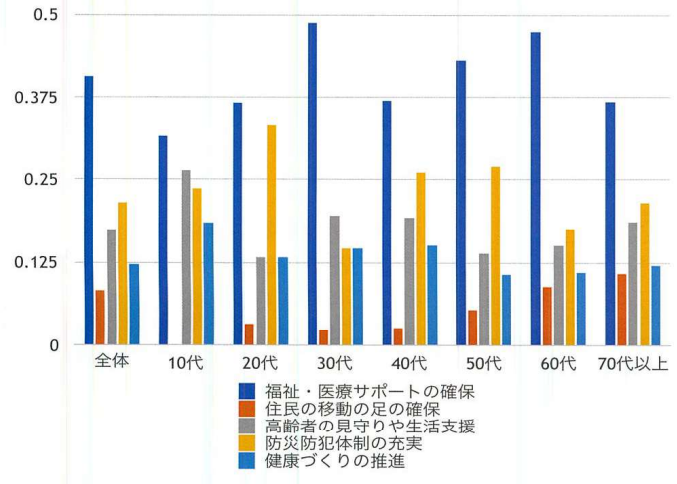
これまでの地域振興計画

将来像に基づいて、基本方針、プロジェクトに分かれて作成しています。アンケートでは、それぞれの項目ごとに重要度（重要だと感じているか）、満足度（満足しているか）を確認しました。

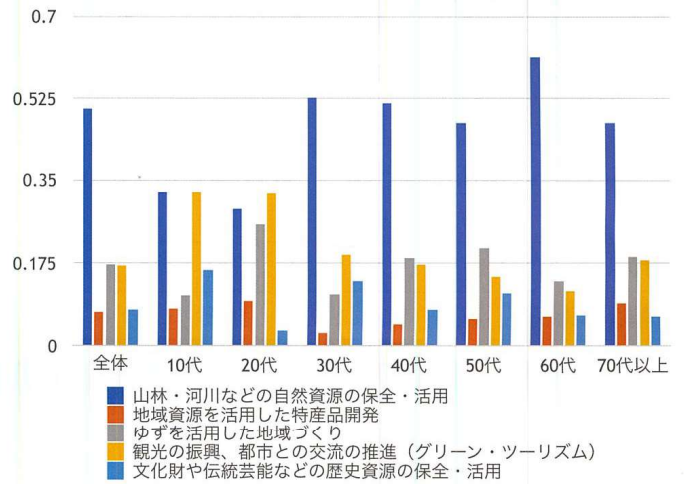


基本方針

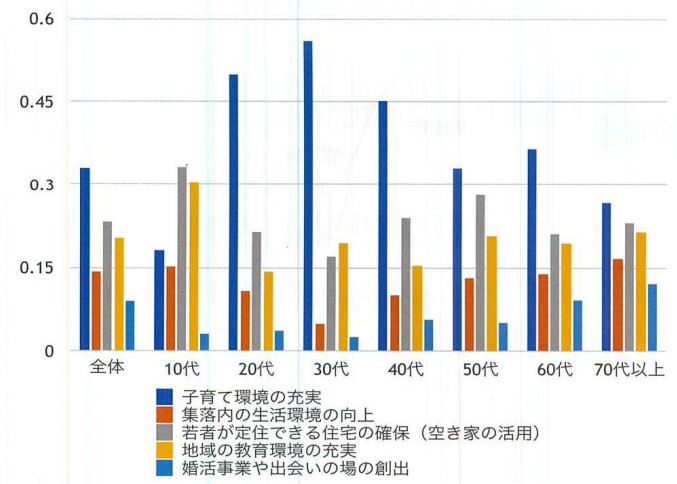
基本方針1 各地域の重要(1位)割合



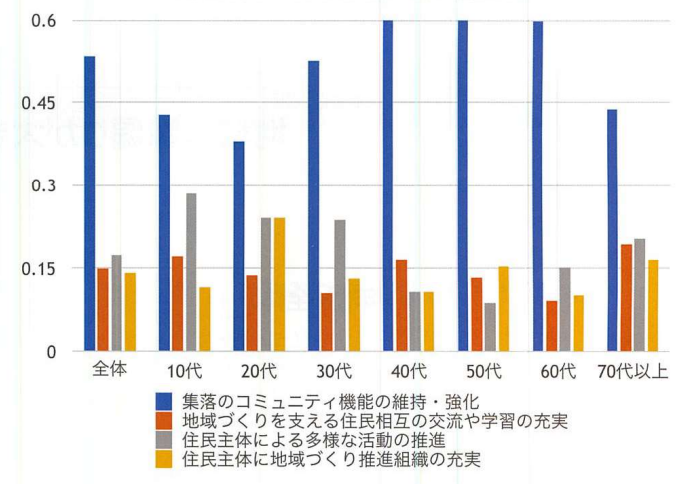
基本方針2 各地域の重要(1位)割合



基本方針3 各地域の重要(1位)割合



基本方針4 各地域の重要(1位)割合



ポイント

- 年代別**
- 基本方針1** 全年代で福祉・医療の確保が1番高い
60代・70代…高齢者の移動の足の確保の重要度が高い
 - 基本方針2** 10代・20代…若年層の観光強化の重要度が高い
60代…中高年層の山/川の保全・活用の重要度が高い
 - 基本方針3** 10代では、定住できるが1番高い
20代～40代…子育て世代の重要度が高い
 - 基本方針4** 全年代でコミュニティ強化が1番高い
40～60代…中高年層のコミュニティ強化の重要度が高い

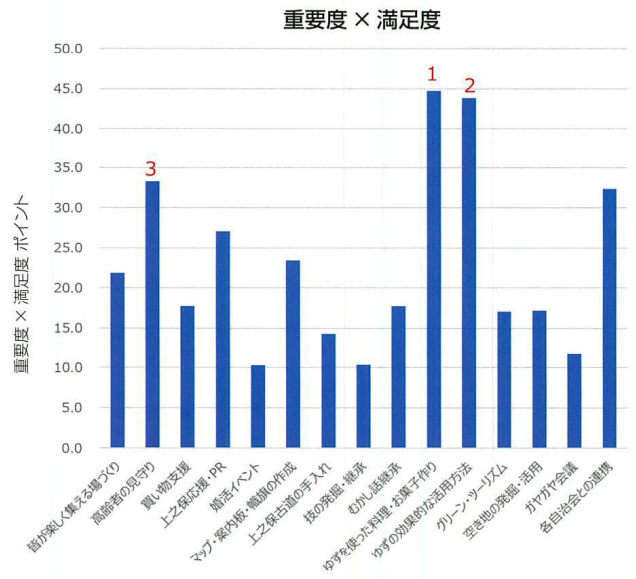
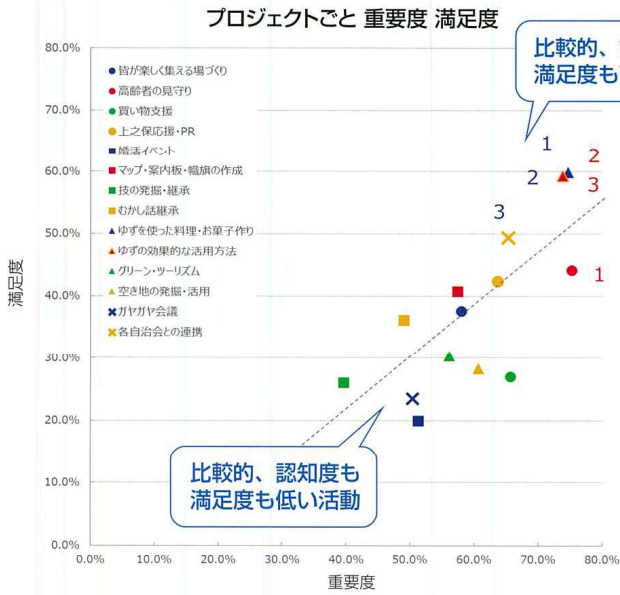
- 地域別**
- 基本方針1** 行合では移動の足の確保の重要度が高い
 - 基本方針2** 行合ではゆずの活用の重要度が高い
 - 基本方針3** 鳥屋市では生活環境の向上の重要度が高い
比較的、川合下では子育て環境の向上の重要度が高い
 - 基本方針4** 川合上では地域づくりの交流や学習の重要度が高い

プロジェクト

重要度：ベスト3
①高齢者見守り ②ゆず料理 ③ゆず活用

満足度：ベスト3
①ゆず料理 ②ゆず活用 ③自治会連携

重要度×満足度 複合ポイント
①ゆず料理 ②ゆず活用 ③高齢者見守り



ポイント

年代別
重要度 ・70代以上の重要意識が高い
 ・30代のどちらとも言えないが高い
 ・40代の重要でないが高い
満足度 ・どの世代もどちらとも言えないが大多数
 ・30代の満足度が低い
 ・70代以上の満足意識が高い

地域別
 地域差はほぼ無い
 どの地域もどちらとも言えないが大多数

改善点

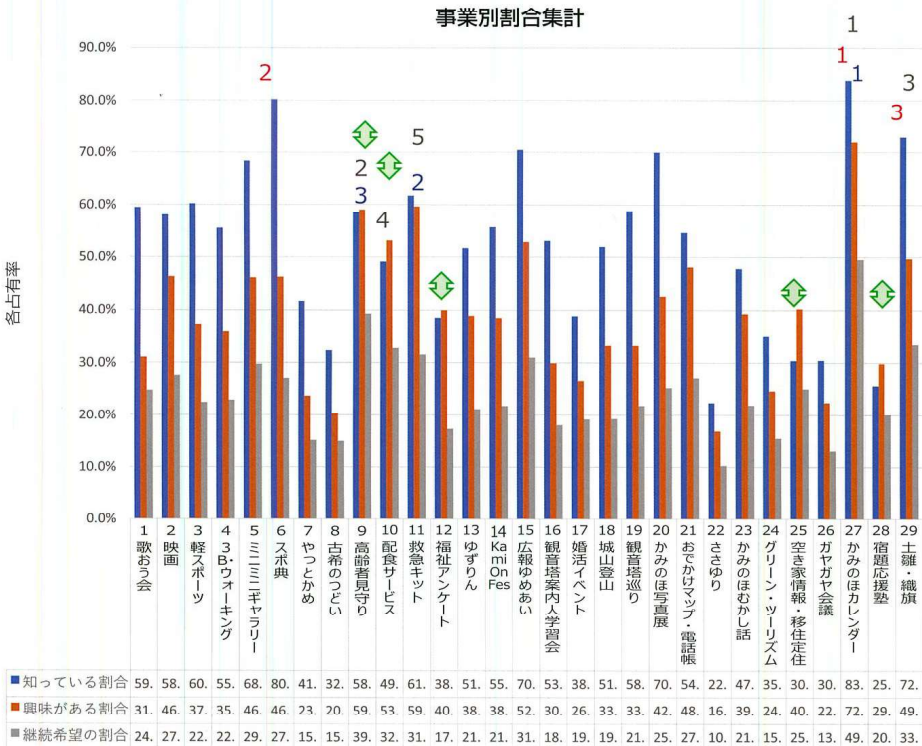
①重要度が高く、満足度の低い活動を充実させる
 ②重要度の低い活動から、重要度の高い活動へ、
 転換していく。

改善点

重要度×満足度の複合ポイントの高い活動は、
 継続して活動を充実させる。

事業

興味度、継続希望度に大きな年齢差地域差は無い。認知度には差があり、その要因を分析・検討することで改善は見込める。



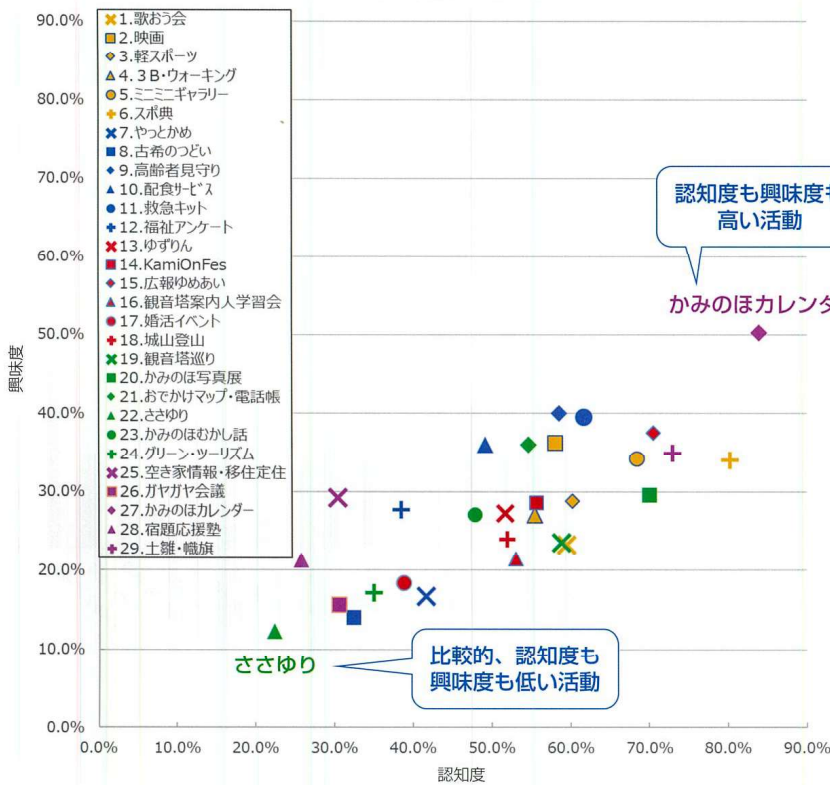
知っている割合：ベスト3
①かみのほカレンダー
②スポ典
③土糺・幟旗

興味がある割合：ベスト3
①かみのほカレンダー
②救急キット
③高齢者見守り

継続希望割合：ベスト5
①かみのほカレンダー
②高齢者見守り
③土糺・幟旗
④配食サービス
⑤救急キット

知っている、興味逆転
 ・高齢者見守り
 ・配食サービス
 ・福祉アンケート
 ・空き家情報・移住定住
 ・宿題応援塾

事業別 認知度 興味度



ポイント

年代別

認知度は20代が一番低く、年齢が上がるほど認知度が高くなる
20代の認知度が一番低い
興味度と継続希望度の傾向は年齢差はなく、概ね同じ

地域別

認知度は鳥屋市が一番高く、川下地域の認知度が低い
比較的、下地域の認知度が低い
興味度と継続希望度の傾向は地域差はなく、概ね同じ

改善点

認知度の地域差の改善
若年層の認知度の改善
知っている興味があるの乖離の改善 → 興味がある活動に

活動プラン

継続希望割合上位活動を充実させる

- ①かみのほカレンダー
- ②高齢者見守り
- ③土雛・幟旗
- ④配食サービス
- ⑤救急キット

継続希望割合低い活動からの転換

- ・ やっとかめ
- ・ 古希のつどい
- ・ ささゆり
- ・ グリーン・ツーリズム
- ・ ガヤガヤ会議

知っている割合に対し興味がある割合が高い活動の認知強化を行う

- ・ 高齢者見守り
- ・ 配食サービス
- ・ 福祉アンケート
- ・ 空き家情報・移住定住
- ・ 宿題応援塾

地域振興計画の改善方針

地域振興計画の改訂にあたり、これまでではどの事業がどのプロジェクトに属し、どの基本方針に紐づいているかが分かりにくく、どの事業が将来像に対し、効果的なのかが見えにくい状態であったため、以下を改善しました。

(詳しくは別紙地域振興計画をご参照ください)

重点的に取り組む
基本方針の決定

重点的に取り組む
事業の設定

基本方針の達成を
測る指標の設定

担当部会